



特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 5年 4月 6日

茨城県知事 殿

提出者

住 所 愛知県蒲郡市港町2番5号

氏 名 竹本油脂株式会社

代表取締役社長 竹本 元泰

電話番号 0533-68-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	竹本油脂株式会社 鹿島工場
事業場の所在地	茨城県神栖市東深芝16番11
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16 (化学工業)
②事業の規模	製品出荷量 85,000トン/年
③従業員数	38名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	洗浄工程→洗浄水(廃酸(有害)・廃アルカリ(有害)) →外注処理：焼却、熱回収、再資源化 品質分析→廃溶剤(引火性廃油)→外注処理：焼却、油水分離

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

特別管理産業廃棄物管理責任者（工場長）

産業廃棄物管理責任者（工場長）

管理担当者（現場）：社内での保管状況等

管理担当者（事務）：マニフェストの発行・管理
委託契約書の管理

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和 4 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類

廃酸・廃アルカリ（有害）

引火性廃油

排出量

3, 337 t

0.8 t

（これまでに実施した取組）

- ・廃酸（有害）・廃アルカリ（有害）の削減として、洗浄水の使用量削減を検討。
- ・年初計画よりも生産量が減少した。
原単位当たりの廃棄物発生量は前年並みであった。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類

廃酸・廃アルカリ（有害）

引火性廃油

排出量

3, 700 t

1 t

（今後実施する予定の取組）

- ・廃酸（有害）・廃アルカリ（有害）の削減として、洗浄水の使用量削減を検討。
- ・前年度比で増産を計画しているが、製品の設計を逐次見直し、原単位あたりの廃棄物発生量削減を図る。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別：廃酸（有害）・廃アルカリ（有害）・引火性廃油
取組：pHをあらかじめ調整して、廃アルカリとして委託

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
分別：廃酸（有害）・廃アルカリ（有害）・引火性廃油
取組：現状維持

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸・廃アルカリ(有害)	引火性廃油
	全処理委託量	3, 337 t	0.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3, 152 t	0.8 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3, 337 t	0.8 t
	(これまでに実施した取組)		
	・製品の設計を見直し、原単位あたりの廃棄物発生量を削減。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸・廃アルカリ(有害)	引火性廃油
	全処理委託量	3,700 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	3,500 t	1 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理 委 託 量	3,700 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) ・廃酸(有害)・廃アルカリ(有害)の削減として、洗浄水の使用量削減を検討。 ・製品の設計を見直し、原単位あたりの廃棄物発生量を削減。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和 4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	3,338 t	
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組) 電子マニフェストを引き続き使用していく。		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。